

いま、そしてこれからの世代に向けた、公共施設の最適化のために

# 「公共施設等総合管理計画」および 「公共施設再編プラン」を策定しました

## 公共施設等総合管理計画

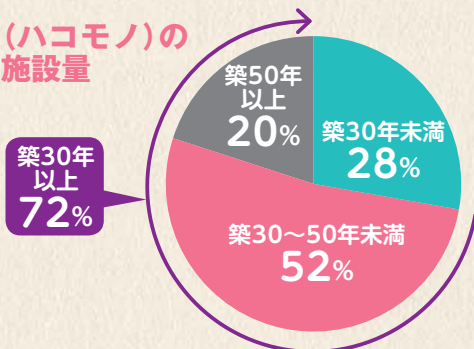
### ◎戸田市の公共施設・インフラの現状を知ろう!

市の公共施設およびインフラが抱える課題は、施設の老朽化や更新費用の増加とともに、人口の高齢化なども大きく影響しています。

#### 課題① 施設の老朽化

公共施設やインフラの多くは昭和30年～40年代の高度経済成長期に整備され、建設から30年以上経過している施設が70%以上を占めています。老朽化に伴い、近い将来次々に更新時期を迎える見通しです。

#### ■公共施設(ハコモノ)の整備年別施設量



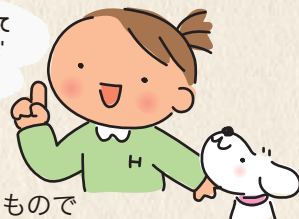
#### 課題② 市内人口の高齢化

今後、戸田市では老年人口の増加と生産年齢人口の減少が見込まれています。また、社会保障費などの増加により、財政面の負担も増加することが見込まれています。

#### ■年齢別人口の推計

年齢	平成28年	平成57年	増減率
年少人口(0～14歳)	21,028人	16,335人	-22.3%
生産年齢人口(15～64歳)	93,564人	82,285人	-12.1%
老年人口(65歳以上)	21,184人	41,910人	+97.8%
合計	135,776人	140,530人	+3.5%

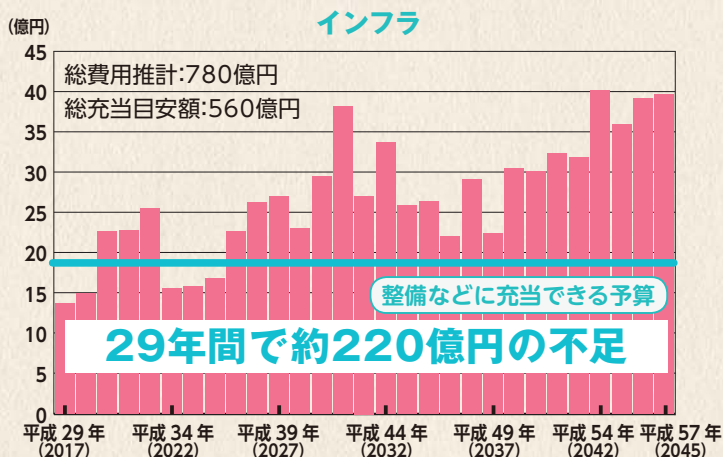
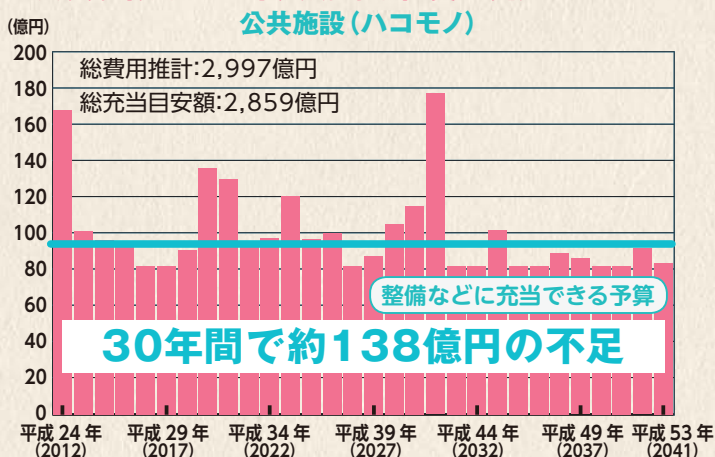
これらの課題を整理して対応していかなければいけないんだね!



#### 課題③ 更新費用などの増加

下図は、今後約30年で公共施設およびインフラの更新・改修などに見込まれる費用を試算したものです。整備などに充当できる予算に対して、公共施設・インフラともに多額の財源不足が予想されます。

#### ■公共施設などの中長期的な経費の見込み





計画期間：平成29年～平成57年

これまで市民生活の利便性の向上に貢献してきた公共施設(学校や市営住宅など)やインフラ(橋りょうや上下水道など)の多くは老朽化が進み、このままだと維持管理費や更新費などに莫大なコストがかかります。市では、この課題を解決するため、長期的な視点をもって、限られた予算の中で計画的かつ効果的に公共施設などの更新・複合化・長寿命化などを行うための「公共施設等総合管理計画」および「公共施設再編プラン」を策定しました。今回はその計画の概要を紹介します。

○問い合わせ 資産管理課(内線449)



## ◎今後の各施設の維持管理は?

以下の7つの基本方針に基づき、施設類型ごとの役割・機能に応じた維持管理に取り組んでいきます。



計画策定に当たっては市民の皆さんと意見交換などを行いました。

- ①点検・診断等の実施方針
- ②維持管理・修繕・更新(建替え)等の実施方針
- ③安全確保の実施方針
- ④耐震化の実施方針
- ⑤長寿命化の実施方針
- ⑥施設再編の推進方針
- ⑦総合的かつ計画的な管理を実施するための体制の構築方針

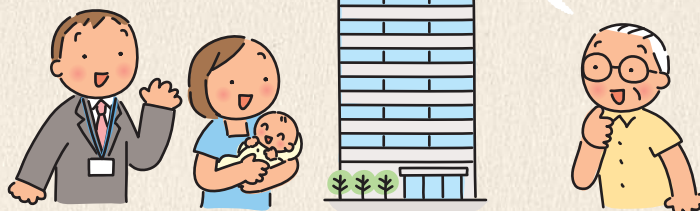
## 公共施設再編プラン

「公共施設等総合管理計画」に基づき、各公共施設の再編に係る中長期的な方向性を示した個別事業計画です。今後は本プランの運用に向けた進捗管理を行い実効性を高めるとともに、社会情勢などに合わせて適宜見直し・更新を行います。

施設を長く安全に  
使うため計画的に  
修繕していこう

他の施設と  
複合化して  
便利になったね

民間でも同様の  
サービスが  
普及しているよね



本計画の詳細は以下でご覧いただけます。

- 冊 子:市役所3階市政情報室、図書館本館
- ホームページ:<https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/172/sougoukanri.html>

## 市長メッセージ

県内一平均年齢が若い本市においても、今後は高齢化が進行することにより、財政運営がさらに厳しくなることが予想されています。そのため、今ある施設全てを今までどおりに維持していくことは困難な状況になっていきます。市民ニーズを的確に捉えつつ効率的な財政運営を行っていくため、本計画を推進し、市民の皆さまが将来にわたって安全安心に暮らしていけるまちづくりに取り組んでまいります。



戸田市長 神保国男